

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 Eストアー

コード番号 4304 URL <http://Estore.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 石村 賢一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 CC担当

(氏名) 柳田 要一

TEL 03-3595-1106

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	3,804	—	377	—	381	—	222	—
23年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 213百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	5,233.93	5,232.57
23年3月期第3四半期	—	—

(注) 平成24年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第3四半期	3,944	—	1,758	—	44.0
23年3月期	—	—	—	—	—

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 1,735百万円 23年3月期 一百万円

(注) 平成24年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期の数値は記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2,300.00	2,300.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において、第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めていますが、現時点では期末日における配当予想額は未定です。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社グループの属するインターネット業界は環境の変化が激しく、業績の見通しにつきましては数値の精度に対する確証が得られないため、合理的な予測が困難であることから、業績予想について記載していません。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	51,636 株	23年3月期	51,636 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	9,111 株	23年3月期	9,111 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	42,524 株	23年3月期3Q	43,752 株
----------	----------	----------	----------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当社は、平成24年3月期第1四半期より「株式会社プレジジョンマーケティング」を連結子会社とし、四半期連結財務諸表を作成しています。

・当社グループの属するインターネット業界は環境の変化が激しく、業績の見通しにつきましては数値の精度に対する確証が得られないため、合理的な予測が困難であることから、業績予想について記載していません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	6
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	6
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	6
3. 四半期連結財務諸表 .....	7
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	9
四半期連結損益計算書 .....	9
第3四半期連結累計期間 .....	9
四半期連結包括利益計算書 .....	10
第3四半期連結累計期間 .....	10
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(4) セグメント情報等 .....	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
4. 補足情報 .....	12
(1) (要約)貸借対照表 .....	13
(2) 四半期損益計算書 .....	14
第3四半期累計期間 .....	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当該期におきましては、当初より、近未来への積極投資年度と位置づけており、この10月までに、第一段階の整備を終え、薄利多売の体制からの抜本改革をスタートしました。Eコマース市場は、スマートフォンの急速な台頭により、流れが大きく変わってきていることに加え、震災による混乱を経て、インターネット経由での商品購入の利便性や自由度が消費者に再認識され、インターネットショッピングに対する意識が一段と増したことから、引き続き拡大しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は 3,804百万円、営業利益は 377百万円となりました。経常利益は 381百万円となり、当四半期純利益につきましては、連結による特別利益の発生や株式評価損による特別損失もあり、222百万円となりました。

なお、連結子会社である株式会社プレジジョンマーケティングの支配獲得日を第1四半期連結累計期間の末日としているため、当第3四半期連結累計期間において、同社の6月30日から12月31日までの損益計算書を連結しております。また、当第3四半期連結累計期間は連結初年度にあたるため、数値についての対前年同四半期比の表示は記載しておりません。

報告セグメントの業績は、次のとおりです。

#### (E C事業)

Eコマース市場は引き続き拡大しており、また例年どおりに、第3四半期連結累計期間においては、クリスマスやお歳暮を中心とした年末商戦などの季節要因による受注数の増加が反映されております。

顧客店舗業績は、一部の大型店舗様の解約による流通額の減少を受け、受注数 597万回、流通額 698億円となり、対前年同四半期比では受注数の増加に対し、流通額は微減となりましたが、フロウ(店舗の業績に連動)売上は 1,239百万円(対前年同四半期比 14.2%増)と順調に拡大し、売上構成では、フロウ売上が全体の 39.1%(対前年同四半期比 3.3ポイント増)となり、店舗獲得とともに、店舗業績拡大の施策に注力してきたことが寄与しております。

OEM供給を含めたサービス全体での累計契約件数は 34,127件となり、前期末に比べ 13,135契約の減少となっております。その要因はOEM先の自社開発への転換です。一方で自社販路の店舗系サービスは 820店増と引き続き増加しており、フロウ拡大に寄与しています。

この3年間、当社では、店舗繁盛のためのトータルサービスの提供が可能である自社販路経由の店舗様の獲得に注力しており、今後2、3年をかけ、システム部分のOEM提供が主となる依存販路から自社販路へとより一層の切り替えを進めてまいります。

なお、依存販路の減少によりストック(契約店舗数に連動)売上へのマイナス影響がしばらく発生しますが、流通総額への影響は軽微であり、むしろ、自社販路経由の店舗様の増加が流通総額の増大に大きく寄与するものと考えております。

また、期初の計画どおり、数年先を視野に入れた事業づくりのため、体制、開発ともに積極的な事業投資策を行ってきた結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は 3,172百万円、営業利益は 384百万円となりました。

(広告事業)

連結子会社である株式会社プレジジョンマーケティングにおいて、WEBマーケティングサービスを提供しております。

当該市場の成長率は著しく、現時点においては事業規模拡大のため、利益率よりも広告取扱総量の増大を重視しており、当第3四半期連結累計期間の売上高は対前年同四半期比2倍超の631百万円となりました。また、連結に伴う会計処理の変更等により営業損失は4百万円となりましたが、利益率は薄いものの構造的に利益が残る事業となっております。

第1四半期連結累計期間より同社を連結子会社としたことに伴い、同社の事業を新たに報告セグメントに区分しております。

(期末までの取り組み)

改革の第二段階に向けて、引き続き来期に掛けて、事業への投資を続けてまいります。当該期末までは、顧客店舗の業績アップに必要となる機能開発を中心に行ってゆきますが、来期むかえる改革の第二段階においては、2012年度に予測しているトラフィック爆発（スマホトラフィックによる）に備え、安定化と高速化を基軸とした施策を展開する計画により、受注増に備えてまいります。

広告事業においては、株式会社プレジジョンマーケティングの業績はもとより、ショップサブ顧客を中心とした、広告請負事業が動き始めており、いっそうの店舗業績貢献に相對して、フロウ収益増を目指してまいります。

(主要サービス別契約件数の四半期推移)

Eコマース用レンタルサーバー件数推移

	平成23年3月期 第3四半期	平成23年3月期 第4四半期	平成24年3月期 第1四半期	平成24年3月期 第2四半期	平成24年3月期 第3四半期
新規契約件数	273	190	197	53	41
(内 直販件数)	(45)	(24)	(21)	(24)	(22)
(内 代理店販売件数)	(31)	(31)	(36)	(29)	(18)
(内 O E M販売件数)	(197)	(135)	(140)	(0)	(1)
解約件数	1,584	1,379	1,561	9,552	3,801
(内 直販件数)	(184)	(176)	(156)	(136)	(167)
(内 代理店販売件数)	(333)	(275)	(314)	(292)	(262)
(内 O E M販売件数)	(1,067)	(928)	(1,091)	(9,124)	(3,372)
累計件数	27,650	26,461	25,097	15,598	11,838
(内 直販件数)	(3,562)	(3,410)	(3,275)	(3,163)	(3,018)
(内 代理店販売件数)	(7,804)	(7,560)	(7,282)	(7,019)	(6,775)
(内 O E M販売件数)	(16,284)	(15,491)	(14,540)	(5,416)	(2,045)

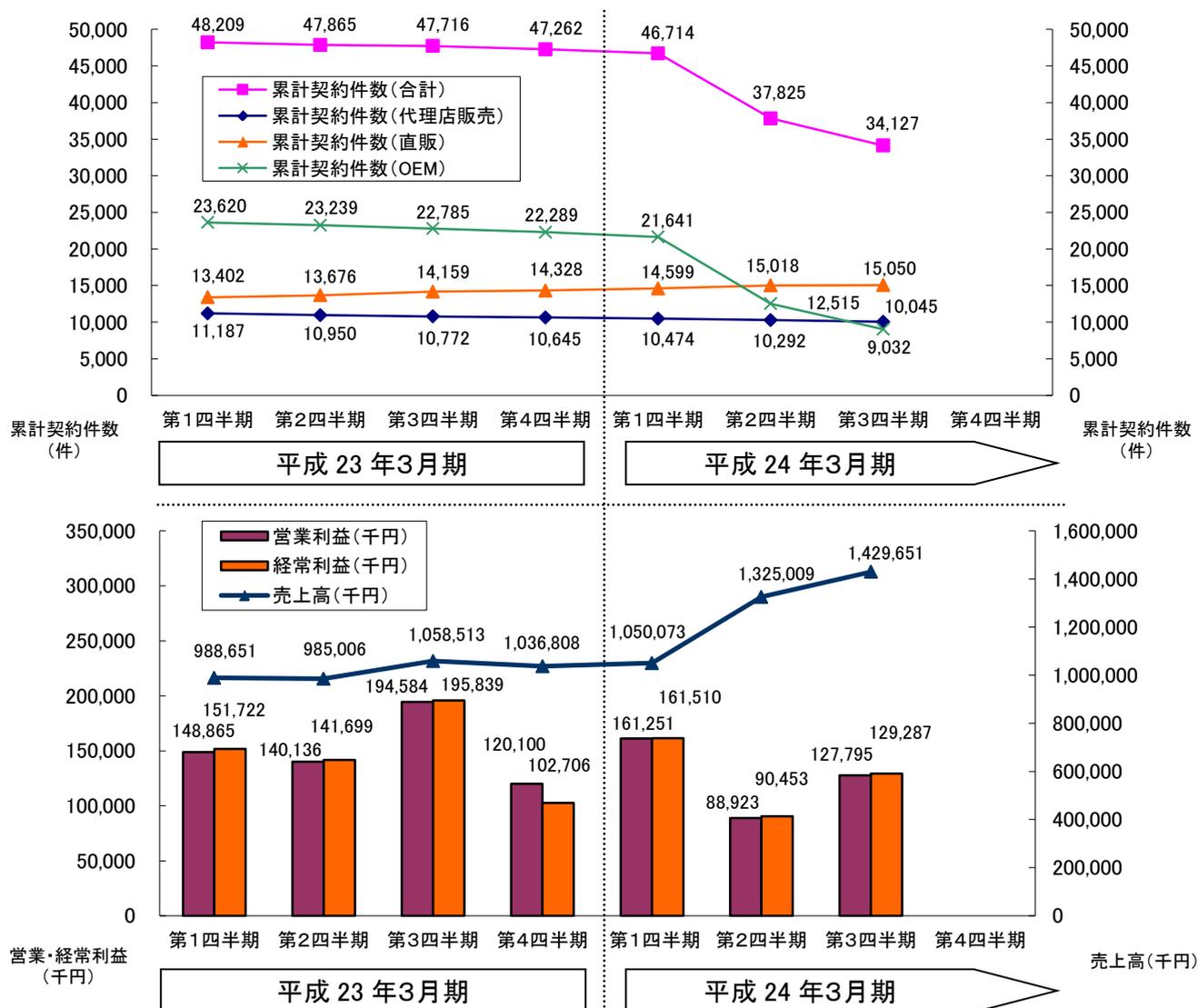
ショッピングカートA S P件数推移

	平成23年3月期 第3四半期	平成23年3月期 第4四半期	平成24年3月期 第1四半期	平成24年3月期 第2四半期	平成24年3月期 第3四半期
新規契約件数	4	0	2	0	3
(内 直販件数)	(4)	(0)	(2)	(0)	(3)
(内 代理店販売件数)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(内 O E M販売件数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
解約件数	59	30	38	41	30
(内 直販件数)	(51)	(26)	(22)	(24)	(16)
(内 代理店販売件数)	(8)	(4)	(16)	(17)	(14)
(内 O E M販売件数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
累計件数	715	685	649	608	581
(内 直販件数)	(458)	(432)	(412)	(388)	(375)
(内 代理店販売件数)	(257)	(253)	(237)	(220)	(206)
(内 O E M販売件数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

ウェブショップ総合パッケージ件数推移

	平成23年3月期 第3四半期	平成23年3月期 第4四半期	平成24年3月期 第1四半期	平成24年3月期 第2四半期	平成24年3月期 第3四半期
新規契約件数	2,030	1,610	1,722	1,600	1,095
(内 直販件数)	(1,248)	(976)	(1,063)	(1,237)	(910)
(内 代理店販売件数)	(262)	(254)	(269)	(253)	(185)
(内 O E M販売件数)	(520)	(380)	(390)	(110)	(0)
解約件数	813	845	870	949	1,006
(内 直販件数)	(579)	(629)	(637)	(682)	(720)
(内 代理店販売件数)	(130)	(133)	(146)	(155)	(174)
(内 O E M販売件数)	(104)	(83)	(87)	(112)	(112)
累計件数	19,351	20,116	20,968	21,619	21,708
(内 直販件数)	(10,139)	(10,486)	(10,912)	(11,467)	(11,657)
(内 代理店販売件数)	(2,711)	(2,832)	(2,955)	(3,053)	(3,064)
(内 O E M販売件数)	(6,501)	(6,798)	(7,101)	(7,099)	(6,987)

(契約件数と売上・利益の四半期推移)



(注) 1 上表の「契約件数の四半期推移」の当第3四半期における減少要因は、システム部分のOEM提供が主となる依存販路（大型代理店、OEM供給先を通じた販売）を縮小し、店舗繁盛のためのトータルサービスが提供可能である自社販路（直販、小規模代理店を通じた販売）へとより一層の切り替えを進めているためです。今後2、3年は、依存販路の減少によりストック（契約店舗数に連動）売上へのマイナス影響がしばらく発生しますが、流通総額への影響は軽微であり、むしろ、自社販路経由の店舗様の増加が流通総額の増大に大きく寄与するものと考えております。

2 上表の「売上・利益の四半期推移」は、平成23年3月期は四半期損益計算書、また平成24年3月期は四半期連結損益計算書の金額を記載しています。なお、連結子会社の支配獲得日を第1四半期連結累計期間の末日としたため、実質的には第2四半期会計期間から連結による影響が発生しています。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間における総資産は、3,944百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における財政状態は次のとおりです。

(資産)

当第3四半期連結会計期間における資産の残高は、3,944百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金 2,371百万円、売掛金 671百万円、無形固定資産 318百万円、工具、器具及び備品 176百万円、敷金 116百万円です。

(負債)

当第3四半期連結会計期間における負債の残高は、2,186百万円となりました。その主な内訳は、預り金 1,662百万円、買掛金 206百万円、前受金 107百万円、未払金 66百万円です。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間における純資産の残高は、1,758百万円となりました。その主な内訳は、資本金 523百万円、資本剰余金 539百万円、利益剰余金 1,666百万円、自己株式 991百万円であり、自己資本比率は 44.0%となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間は連結初年度にあたるため、前事業年度末との比較分析はおこなっていません。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの属するインターネット業界は環境の変化が激しく、業績の見通しにつきましては数値の精度に対する確証が得られないため、合理的な予測が困難であることから、業績予想について記載していません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	2,371,509
売掛金	671,358
原材料及び貯蔵品	5,496
前渡金	46,378
その他	123,749
貸倒引当金	△6,014
流動資産合計	3,212,477
固定資産	
有形固定資産	
工具、器具及び備品（純額）	176,562
その他（純額）	17,897
有形固定資産合計	194,459
無形固定資産	
投資その他の資産	318,368
投資有価証券	43,493
関係会社株式	28,505
敷金	116,544
その他	40,423
貸倒引当金	△10,000
投資その他の資産合計	218,966
固定資産合計	731,793
資産合計	3,944,271
<b>負債の部</b>	
流動負債	
買掛金	206,882
未払金	66,396
未払法人税等	1,329
賞与引当金	39,919
前受金	107,544
預り金	1,662,704
1年内返済予定の長期借入金	6,000
その他	68,280
流動負債合計	2,159,057
固定負債	
資産除去債務	10,457
長期借入金	16,500
固定負債合計	26,957
負債合計	2,186,015

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間  
(平成23年12月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	523,328
資本剰余金	539,416
利益剰余金	1,666,227
自己株式	△991,853
株主資本合計	1,737,119
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△1,442
その他の包括利益累計額合計	△1,442
新株予約権	2,239
少数株主持分	20,339
純資産合計	1,758,256
負債純資産合計	3,944,271

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	3,804,734
売上原価	2,543,159
売上総利益	1,261,575
販売費及び一般管理費	883,604
営業利益	377,970
営業外収益	
投資有価証券売却益	4,690
受取利息	665
受取配当金	953
雑収入	1,039
営業外収益合計	7,348
営業外費用	
投資有価証券売却損	1,846
支払利息	523
為替差損	1,623
雑損失	74
営業外費用合計	4,067
経常利益	381,251
特別利益	
投資有価証券売却益	2,260
段階取得に係る差益	12,320
その他	108
特別利益合計	14,689
特別損失	
関係会社株式評価損	6,389
債権放棄損	3,203
特別損失合計	9,592
税金等調整前四半期純利益	386,348
法人税、住民税及び事業税	121,498
法人税等調整額	45,239
法人税等合計	166,737
少数株主損益調整前四半期純利益	219,610
少数株主損失(△)	△2,956
四半期純利益	222,567

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	219,610
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△6,451
その他の包括利益合計	△6,451
四半期包括利益	213,159
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	216,618
少数株主に係る四半期包括利益	△3,458

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

四半期決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため、開示を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

(参考資料) 前年同四半期に係る財務諸表等

平成24年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、参考までに前事業年度末に係る(要約)貸借対照表、前第3四半期累計期間に係る四半期損益計算書を掲載しています。

(1) (要約)貸借対照表

(単位：千円)

前事業年末に係る (要約)貸借対照表 (平成23年3月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,973,289
売掛金	456,669
原材料及び貯蔵品	4,796
前渡金	1,642
その他	163,847
貸倒引当金	△5,002
流動資産合計	2,595,243
固定資産	
有形固定資産	
工具、器具及び備品(純額)	195,965
その他(純額)	18,659
有形固定資産合計	214,625
無形固定資産	292,985
投資その他資産	
投資有価証券	134,757
敷金	114,084
その他	41,413
貸倒引当金	△10,000
投資その他資産合計	280,255
固定資産合計	787,866
資産合計	3,383,110
負債の部	
流動負債	
買掛金	123,743
未払金	110,960
未払法人税等	139,271
賞与引当金	54,083
前受金	71,463
預り金	1,204,151
その他	50,021
流動負債合計	1,753,694
固定負債	
資産除去債務	10,323
固定負債合計	10,323
負債合計	1,764,018
純資産の部	
株主資本	
資本金	523,328
資本剰余金	539,408
利益剰余金	1,541,462
自己株式	△991,853
株主資本合計	1,612,347
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	4,504
評価・換算差額等合計	4,504
新株予約権	2,239
純資産合計	1,619,091
負債純資産合計	3,383,110

(2) 四半期損益計算書

(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	3,032,172
売上原価	1,684,643
売上総利益	1,347,528
販売費及び一般管理費	863,942
営業利益	483,586
営業外収益	
受取利息	3,430
受取配当金	165
雑収入	814
投資有価証券割当益	1,783
営業外収益合計	6,193
営業外費用	
自己株式取得費用	478
雑損失	39
営業外費用合計	518
経常利益	489,261
特別利益	
投資有価証券売却益	22,999
特別利益合計	22,999
特別損失	
固定資産除却損	15,576
投資有価証券評価損	12,707
関係会社株式評価損	11,704
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,698
特別損失合計	44,688
税引前四半期純利益	467,572
法人税、住民税及び事業税	186,702
法人税等調整額	△7,663
法人税等合計	194,366
四半期純利益	273,206